特定非営利活動法人　とよたエコ人（びと）プロジェクト

2014 年度

第７回通常総会　議案書

日　時　　2015 年7月 20 日（月・祝）　　11：00　～　12：00

場　所　　まほろばの里　夏焼温泉郷　ホテル岡田屋
（愛知県豊田市武節町田ノ洞２１３番地２）

通常総会　次第

１．開会のあいさつ
２．議長の選出
３．議事録署名人の選出
４．定足数の確認
５．議案の審議

			ページ数
【審議事項】	第１号議案	2014 年度事業報告	2
	第２号議案	2014 年度収支決算	12
	第３号議案	役員選任	17
【報告事項】	１	2015 年度事業計画	19
	２	2015 年度収支予算	23

６．議長解任
７．閉会

参考資料　　・組織体制図
　　・公共施設見学案内の工夫

年度期間
2014（H26）年度：2014 年６月～2015 年５月
2015（H27）年度：2015 年６月～2016 年５月
＊文中の「平成」表記の年度は４月～３月を示します

審議事項

第１号議案　　2014 年度事業報告　（期間　2014 年６月１日から 2015 年５月 31 日まで）

【概要】

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト（以下、当会）は、豊田市環境学習施設 eco-T（以下、eco-T）で活動する市民が中心となって設立した NPO 法人です。参加体験型の環境学習を通して、持続可能で豊かな地域社会（42 万人のエコライフとよた）の実現に寄与することを目的に、2009 年３月 19 日に設立（法人登記）されました。

若手スタッフの定着、職員不足が大きな問題ですが、65 名（4/1 時点）のインタープリターとともに eco-T の来館者やイベントの来場者、出前講座の受講生などに環境問題と私たちのくらしのつながりについて伝えてきました。eco-T の年間来館者数は平成 26 年度 24,907 人（25 年度は 23,954 人）、エコットフェスタ 2015 来場者 1,600 人（2014 は 1,458 人）と順調に増えています。

また、eco-T 以外の取り組みについては、とよたまちさとミライ塾でミニ太陽光発電組み立て講座を開催したほか、とよた再生可能エネルギー講座（環境モデル都市推進課より受託）や「とよたの環境学習お助け本」の発行を行いました。

設立６年目に当たる 2014 年度の取り組みを、計画に沿って紹介します。

【事業活動】

１．環境学習事業

（１）eco-T での取り組み

eco-T の詳しい活動については、平成 26 年度活動報告をご覧ください。

なお、概要は eco-T ホームページ（http://www.eco-toyota.com/）にも掲載をします。

（現在７月中旬更新予定）

● eco-T の通常対応

「教えるから聞く」というキャッチフレーズを掲げ、よい質問を蓄積し、共有をはかりながらインタープリテーションのレベルアップをはかる計画でした。

①インタープリターのよい質問を記録することができず、共有をはかることはできませんでしたが、事務局内でよい案内の工夫を出し合いました。参考資料をご覧ください。

②経験交流会（12/16）を世話人中心で企画・運営を行い、上手な案内ややりたいことを話し合うことができました。

③公共施設見学のレクチャー、展示学習プログラムの案内を一部見直しました。見直した理由は、大きな学校は時間が不足しがちで、展示室を割愛することが多くなったため。レクチャーに温暖化の説明を入れて、時間が余った場合は、展示室を自由時間に見てもらうことにしました。

● くらしの環境学習推進校【充実】

学習コーディネーターや出前講座を担うインタープリターを増やし、とよたの環境学習お助け本を活用したり、授業内容を工夫したり、より深い環境学習に取り組みたい学校の対応を発展・成長させる計画でした。

①くらしの環境学習推進校の申込みは 15 校（平成 26 年度 16 校）と昨年並みでした。

②学習コーディネーターを増やす取り組みを実施せず、人数は増えていません。
③出前講座を担うインタープリターは、出前講座の説明会や実際に学校に行って見学をするしくみを導入しました。
④とよたの環境学習お助け本を学習コーディネーターが先生に渡すことで、授業の内容がわかりやすく伝わり、打合せがやりやすくなりました。
⑤パッケージ化されている授業のみの提供から、先生の要望に沿う工夫をすることができました。
＊打合せの際に、年間カレンダー（ESD カレンダー）を作成している学校が２校ありました。一部の学校では ESD というキーワードや年間を通じた環境学習の取り組みが広がっていると実感しました。

● 低学年から高学年まで連続した環境学習への取り組み【充実】
今までの蓄積を活かし、低学年から高学年に向けた連続した環境学習プログラムのモデル作りを行う予定でした。
①毎年、夏休みすぎに低学年向けの出前授業の働きかけを行ってきましたが、今年度は行うことができませんでした。理由は、昨年申込数が少なく提供しようとするものが学校にふさわしいものか検討できなかったためです。
②３年生向け写真俳句授業を新たに開催することができ、また昨年に引き続き１年生向けにめぐり座による環境劇を開催することができました。
③お助け本を見て、４年生の単発授業の出前や５年生向け温暖化プログラムの相談をいただきました。（実施は 2015 年６月～）

● その他の eco-T の取り組み
①豊田市と仕様書の見直しを行い、業務内容を一部組み変えました。
②施設利用の見直しを検討しました。（実施は 2015 年６月～）
③もった博士のかがく倶楽部で燃料電池をテーマにした講座をとよたエコフルタウンで実施。トヨタの開発者を講師に迎え、発売されたばかりの FCV「MIRAI」に乗車したり、発電した電気でお湯を沸かしあたたかい飲み物をふるまいました。
④豊田市生物多様性地域戦略の策定（平成 25 年度）を受けて、eco-T でも「生物多様性と私たちのくらしとのつながり」を学ぶ講座「いきものめぐみ塾」を開催しました。自然体験を中心にした講座は初の試みでした。

（２）eco-T 以外での取り組み

● 環境学習の機会提供
環境学習 Web サイト hibico の記者育成や様々な人に環境分野のボランティア活動に携わる機会を提供する計画でした。
①hibico の記者育成は、OJT で行いました。環境学習 Web は、豊田市の事業としては廃止となることが決まり、記者ステップアップや新規育成は行いませんでした。hibico は、2015 年6月から当会が自主的に運営を引き受けることができました。
②職場体験の受入れや交流館祭での中学生ボランティアの受入れ、企業の家族会イベントの開催支援（開催は 2015 年８月）などを行い、活動機会を提供することができました。

● 主催講座の開催【充実】

eco-T の環境学習では取り扱いにくいテーマや話題性のあるテーマを取り上げた当会主催の講座を開催する計画でした。

①6 月５日（木）　山里の恵みを感じる豆富づくり講座

旭地区の福蔵寺で、豆腐を作る講座を６人で実施しました。

②10 月 13 日（月・祝）エコライフ＆スマートライフ見学ツアー（とよたまちさとミライ塾）

２週間前になっても申込みがなかったため中止しました。

③11 月８日（土）ミニ太陽光発電システム組み立て講座（とよたまちさとミライ塾）

50W の太陽光発電を組み立てる講座を実施。11 組参加（約 30 人）。

④12 月１日（月）　スタッフ研修「いま、求められる環境教育」

eco-T の休館日に講師をお招きしてスタッフ研修を行いました。９人参加。

⑤1 月 31 日（土）豊田市環境基本計画勉強会

話題提供「政策づくりと市民共働」と計画の進捗報告を行いました。19 人参加。

● ESD に関する取り組み

明確な事業は計画されていませんが、2014 年が豊田市において ESD 元年になれるように、事業展開を実施したいと考えていました。

①中山小学校にて ESD カレンダー作成講座を実施（8/18）

eco-T が中山小学校の先生に協力を求める形で講座を実施。教育センターの方を講師に招き、お助け本作成チームも交わりワークショップを体験。

②OS☆U といっしょに、ごみ焼却場を見学して MY バッグをつくろう！受入れ（11/15）

AEL ネット環境学習スタンプラリーの一環で受入れ。22 人参加。

③とよた環境学習お助け本で ESD の概念、カレンダーの作り方を紹介。

こどもたちの将来は変化の大きい社会になっていること、環境学習は持続可能な社会づくりを担う人材育成であること、また学習指導要領にも記載があること、ESD カレンダーを作ることが授業の見通しを立てるには有効であることなどを紹介しました。

２．環境学習等への支援、連携事業

● とよたの環境学習お助け本（とよた環境学習・ESD 促進ガイドブック）の作成

モリコロ基金の助成を受けて、eco-T で取り組んできた出前授業の学習プログラムや豊田市の環境学習相談窓口をまとめた冊子を 300 部発行しました。

４月に市内小学校、交流館に各１冊、くらしの環境学習推進校の担任の先生に１冊、総合学習の自主研究会の参加者などに配布しました。

●　とよた再生可能エネルギー講座開催（豊田市環境モデル都市推進課より受託）

回数	日時	参加者数	内容
第１回	11 月７日（金） 10：00～12：00	27 人	再生可能エネルギーって？

第２回	11 月 21 日（金） 10：00～12：00	27 人	太陽光発電から考えるエネルギーのかしこい利用
第３回	12 月５日（金） 10：00～12：00	28 人	安定供給優等生！水力発電に取り組もう
第４回	12 月 19 日（金） 10：00～16：30	24 人	豊田市内先進地見学ツアー

● 環境学習や環境まちづくりイベントへの支援・出展

要請に応じて、環境学習や環境まちづくりを目的としたイベントの支援を行いました。

①ローカル・エネルギー・フェスタ（11/22）

とよたエコフルタウンにおいて、中小企業経営者がエネルギーに関するイベント開催の支援。豊田市との折衝、企画立案、当日運営、報告書作成など一連の事業を行いました。

②とよた市民活動フェスタ（11/29）

とよた市民活動センターが初の実行委員会形式で開催するフェスタにアドバイザーとして参加。

③企業家族会のものづくりイベント（8/2 開催予定）

eco-T の全館を利用してものづくりと環境を体験するイベントの開催支援（継続）。

● さんしゅう ECO 倶楽部の発展

３年間小規模事業所の CO_2 削減の取り組みを行ってきましたが、今年度は小規模事業所へ働きかけができず特に成果はありません。

＊さんしゅう ECO 倶楽部で行った蛍光灯型 LED の共同購入の取り組みが評価され、宮田電工がパナソニックリニューアルコンテストで優秀事例として取り上げられました。

● とよた環境学習・環境活動支援拠点（シェアオフィス）の運営

エコライフとよたを目的にする個人・団体に向けて事務所スペースの利用者を募集しています。

現在は下記の利用があります

〔オフィス機能〕

・一般社団法人物々交換局（おむすび通貨発行団体）

・NPO 法人ブルーバード（ワークライフバランスや起業支援）

〔会議利用〕

・アグロプエルタ（若者の農業サークル）

・豊田商工会議所青年部

● その他

eco-T の活用方法をたくさんの人に知ってもらおうと、eco-T の実績をわかりやすくまとめた冊子を交流館に配布しました。また、子育てサークルに渡刈クリーンセンターの見学案内やこども会にイベント支援の案内をしました。

かえっこバザールや工作、クッキングなどの依頼が増えました。

３．環境配慮型商品等の普及促進事業

● 家庭向け電気の契約アンペアダウンキャンペーンの実施【発展】

さんしゅうECO 倶楽部で得たノウハウを家庭向けに活用する事業です。まずは会員限定に何らかの働きかけをしたいと思っていました。

会員向けに契約アンペアダウンのアンケートを取りましたが回収が少なく、有効な回答も得られませんでした。

● 緑のカーテン普及事業

eco-T 入口の緑のトンネルならびに３階調理室窓の緑のカーテンの設置、管理をします。また、有志により育成したゴーヤなどの苗をエコットフェスタで配布し、緑のカーテンを普及する計画でした。

①エコットフェスタ 2014、2015 でゴーヤ等の苗を配布しました。また、清掃施設課に協力をいただき、ECO グリーン小袋（2kg 入り）を無料配布しました。継続事業のため、苗をもらえることを期待して来場してくれる方も増えてきました。

②2011 年にプランターを設置して５年になりました。あちこち腐って来たためプランターの更新を行いました。プランターの制作は、前回と同じ団体に依頼しましたが、運営形態が変更になっており、市民の寄付をもとに制作を依頼することになりました。エコットフェスタ 2015 で緑のカーテン用の苗配布時に寄付をお願いしたところ、8,628 円集まりました。

● リユースイベントの地域展開

使わなくなったおもちゃや絵本を交換する「かえっこバザール」の地域展開やエコットフェスタのリユース広場（子ども服、食器、本）のリユースの仕組み化を検討し、資源が循環する社会づくりを試みる計画を行う予定でした。また、大人向けのリユースも検討する予定でした。

①ローカル・エネルギー・フェスタやとよた市民活動フェスタ、住宅展示場のイベントにて開催することができました。また平成 27 年度に入り、交流館からの依頼が増加しました。

②エコットフェスタでフリーマーケットを開催しました。

③エコットフェスタのリユース広場で残った資源は、平成 26 年度はこども服と陶器は NPO 法人中部リサイクル運動市民の会が運営する「Re 創庫」や産業フェスタのリユースコーナー（こども服のみ）に引き取ってもらいましたが、平成 27 年度から、資源の一部を子育てサークルのこども服交換会などに提供します。

提供量　※5/1～5/31 で回収を実施。

回収品目	H26 年度	H27 年度	前年比
本	636 冊	738 冊	16%増加
子ども服	2,281 枚	3,044 枚	33%増加
陶磁器・ガラス製食器	1.351kg	1,028kg	23%減少
持参者（のべ人数）	233 人	227 人	2.5%減少

リユース量（持ち帰り量）は未集計

※平成 27 年度は、初の試みとして、持ち帰る方に募金を呼びかけ、点数制限を実施。

集まった募金 32,472 円は（一財）日本国際飢餓対策機構を通してバヌアツの復興支援へ寄付。

● 地産地消（食）の推進

地産地消（食）の推進や障がい者の就労支援を目的に、エコットフェスタなど、イベントを開催する際には、豊田市内や矢作川流域の産直品の販売や授産施設の商品を販売する機会を作ります。

①エコットフォーラム 2014 では、「からだも地域もよろこぶおいしいごはん」と題して、講演や映画上映などを通して、将来世代も幸せに暮らせる「持続可能な社会」を目指した、地域づくり、人づくりについて学びました。

②エコットフェスタ 2015 では 19 店舗（前年は 15）の出店がありました。

４．調査研究、政策提言事業

● 新環境基本計画（平成 30 年策定予定）に向けた取り組み【新】

次の基本計画の策定に向けて、多くの市民の関心を高め、市民参加型で策定した他自治体の事例に学び、今後の展開を検討しようという計画でした。

①豊田市環境基本計画勉強会（1/31）の中で、市民活動・NPO 論が専門の先生を招へいし「政策づくりと市民共働」と題して講演をしました。

● 各種委員会やネットワークへの参加

環境活動の促進や環境まちづくりの推進に向けて様々な活動に参加しました。

現状で参画している取り組みは以下の通りです。

・豊田市環境審議委員
・豊田市環境学習連携会議
・愛知県環境学習施設等連絡協議会
・とよた市民活動センター運営委員
・とよた市民活動フェスタ実行委員
・千年委員会（豊田市の持続可能な地域づくりに取り組む団体の情報交換）
・共働ひろげ隊（地域支援課）
・公共コミュニケーション学会環境・リスクコミュニケーション部会（hibico が事例として採用）

５．情報受発信事業

● 環境学習 Web サイトの更新業務

とよたエコファミリー向け行動検証と子育て中のお母さん向け「hibico（ひびこ）」の運用を引き続き行いました。環境学習 Web サイトは、５年目を迎え豊田市としての業務は終了し、引き続き当会の独自事業として運営していきます。

①環境学習 Web サイト更新業務

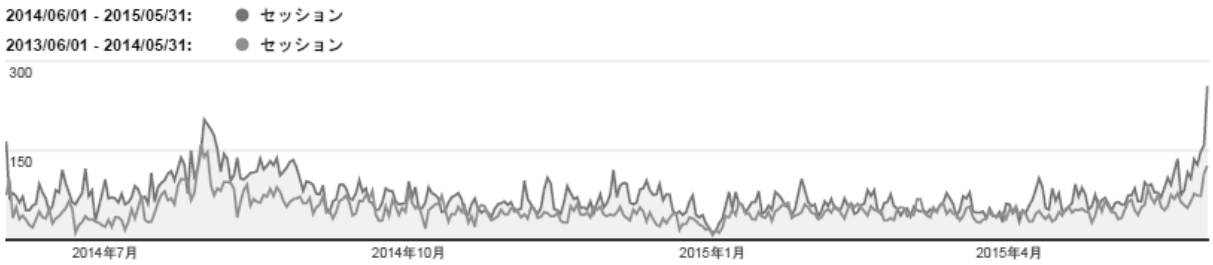
平成 26 年度は hibico の更新を 36 回、夏と冬の省エネ行動チェック、クールシェアの受付サイト制作を行いました。

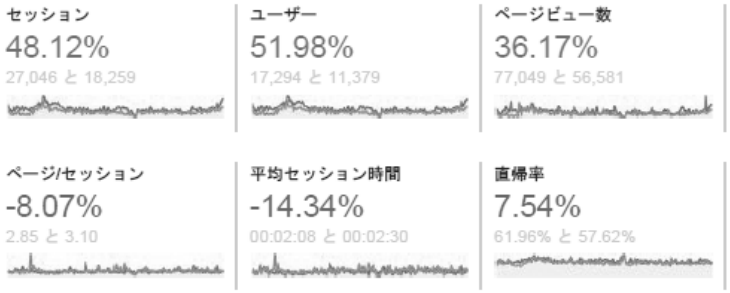
②エコポイントナビ制作業務

平成 26 年度業務として、エコファミリー宣言をするサイトを発展させ、エコファミリーのことなら何でも分かるサイトを制作しました。新年度も引き続き、軽微な変更、キャンペーン用チラシ、

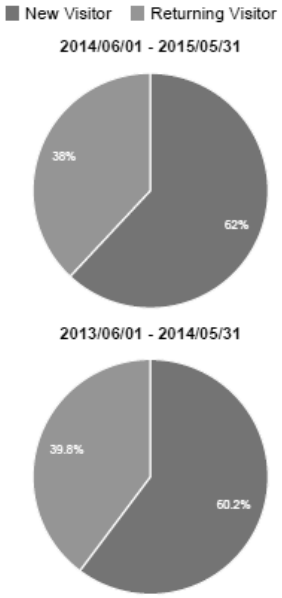
画像の作成を行っています。
③とよたのエコなくらし「hibico」
環境学習 Web サイト内の hibico を継続できるように豊田市と検討を重ね、当会が譲り受け継続することになりました。

● 情報発信の充実
当会ホームページやリーフレットの見直し、メーリングリストなど情報発信の充実を計画しました。また、あわせて eco-T のアクセス数アップを行いました。
①ホームページ見直しはリニューアル途中
②リーフレット見直しは未着手
③メーリングリストは 50 件の投稿を行いました。また、外部メーリングリストを活用し情報発信を強化しました。
④eco-T のアクセス数（6/1～5/31 の 2 カ年比較）





セッション	27,046 と 18,259
ユーザー	17,294 と 11,379
ページビュー	77,049 と 56,581



6．環境学習施設等の管理運営事業

● eco-T での環境学習・運営業務
〔主な成果（平成 25 年度→平成 26 年度）〕

・eco-T 来館者数	23,954 人	→	24,907 人（＋953）
・見学団体	158 団体	→	154 団体（－4）
・利用回数	552 回	→	673 回（＋121）
・登録団体数	140 団体	→	191 団体（＋51）

・エコライフ講座　　54 回 1,160 人　→　60 回 1,161 人（+6 回 ＋1 人）
・小中学校出前授業　40 校 115 回 3,492 人 → 32 校 112 回 3,293 人(-8 校 -3 回 199 人)

● リユース工房受付業務
〔主な成果（平成 25 年度→平成 26 年度)〕　　＊4 月～1 月までの 10 カ月分
・展示実績　　430 点　→　470 点（+20、9%）
・落札金額　　948,500 円　→　1,529,800 円（+58 万、+61%）
・来館者数　　2,714 人　→　3,964 人（+1,250、+46%）
・入札件数　　1,409 件　→　2,150 件（+741、+53%）
・落札重量　　7,259kg　→　8,617kg（+1,358、+19%）
・新規入札者　　271 人　→　364 人（+93、34%）

7．その他、法人の目的を達成するために必要な事業

● その他要請に応じて、環境啓発グッズの製作・販売を行いました。
①カンバッジの制作・販売（観察の森フェスタなど）
②MY 箸キット（活用は今後）

● その他
稲武商工会の依頼で「稲武地区内経済状況の調査分析」を行いました（年度またぎ事業)。

【法人運営】

１．会員

当会の活動に賛同し一緒に活動してくれる仲間を募りました。

種別	目標	2014 年度末	*10 年度*	*11 年度*	*12 年度*	*13 年度*
正会員	30 人	23 人	*24 人*	*22 人*	*25 人*	*26 人*
賛助・個人会員	70 人	47 人	*29 人*	*31 人*	*44 人*	*44 人*
賛助・団体会員	―	３団体	*1 団体*	*1 団体*	*2 団体*	*2 団体*
合計	100 人	73	*54*	*53*	*71*	*72*

２．寄付等

イベントなど、機会あるごとに当会の運営資金獲得や寄付文化の醸成のために、寄付を募りました。

・エコットフェスタ 2015　リユース広場　32,472 円（バヌアツの復興支援へ活用）
　中部ＮＧＯおうえん募金を通して（一財）日本国際飢餓対策機構に寄付。

・エコットフェスタ 2015　緑のカーテン 8,628 円
　公益財団法人あすて森のプレゼント事業を通して緑のトンネルのプランター製作費の一部。

・とよたエコ人プロジェクト事務所　　4,916 円

３．会議の開催

（１）通常総会

第６回通常総会は、2014 年７月 21 日（月・祝）に、とよたエコフルタウンの見学会、地産地消レストランホガラカでの懇親会と合わせて開催しました。

（２）理事会

おおむね月に１回程度開催し、事業計画や進行管理、運営上の課題等について議論しました。

回	日程	主な内容
1	６月 13 日（金） ９：30～12：00	・第６回総会について ・理事の役割、スタッフへの期待 ・事業の進捗
2	7月9日（水） ９：30～12：00	・第６回総会について ・事業の進捗 ・団体ＨＰの見直し
3	７月 19 日（土） 15：00	・小口現金の紛失について
4	８月 20 日（水） ９：30～12：00	・総会のふりかえり ・とよたまちさとミライ塾の企画 ・事業の進捗
5	9月 17 日（水） ９：30～12：00	・平成 26 年度上期のふりかえりと下期の計画 ・ローカル・エネルギー・フェスタについて ・事業の進捗

6	10月22日（水） 13：00～15：00	・採用について（求める人物像を検討） ・夏のエコ度チェックの報告 ・事業の進捗
7	11月26日（水） 9：30～12：00	・グリーンコンシューマー一斉調査 ・事業の進捗
8	12月10日（水） 13：00～15：30	・求人の応募状況について ・ビジョン、中期計画づくり ・事業の進捗
9	1月30日（金） 9：30～12：00	・組織体制の見直し ・シェアオフィスの入居団体について ・事業の進捗
10	2月18日（水） 13：00～13：10	・融資について
11	2月18日（水） 13：10～15：30	・スタッフ体制の見直し、新規採用について ・事業の進捗
12	3月25日（水） 13：00～15：30	・スタッフ体制の見直し ・平成27年度に向けて ・事業の進捗
13	4月15日（水） 9：30～12：00	・職員の退職、求人範囲の拡大 ・新年度の役員の改選について ・事業の進捗
14	5月20日（水） 13：30～15：30	・新役員の選出 ・総会の内容について ・事業の進捗

以上

第２号議案　　2014 年度収支決算　（期間　2014 年６月１日から 2015 年５月 31 日まで）

１．活動計算書（二期比較）

「特定非営利活動に係る事業会計」活動計算書（二期比較）（案）

2014年6月1日から2015年5月31日まで

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト

（単位：円）

科目	2014年度		2013年度		備考（2014年度）
Ⅰ経常収益					
1　受取会費					
・正会員受取会費	210,000		230,000		正会員21名
・賛助会員受取会費	76,000	286,000	72,000	302,000	賛助会員　個人39名、3団体
2　事業収益					
・環境学習事業	9,000		353,650		豆富づくり講座、とよたまちさとミライ塾
・環境学習等への支援・連携事業	971,000		332,780		環境イベントへの出展、シェアオフィス、再生可能エネルギー講座
・環境配慮型商品等の普及促進事業	0		809,153		
・情報受発信事業	3,855,816		2,520,000		環境学習Webサイト更新、エコポイントナビ制作
・環境学習施設等の管理運営事業	47,295,000		42,084,000		豊田市環境学習施設eco-T、リユース工房
・その他の事業	57,200	52,188,016	68,655	46,168,238	缶バッジ
3　受取助成金	834,000	834,000	166,000	166,000	あいちモリコロ基金（環境学習お助け本作成）
4　受取寄付金	4,916	4,916	106,393	106,393	
5　その他収益					
・受取利息	2,082		1,794		
・雑収益	478	2,560	7,178	8,972	配当金など
経常収益合計		53,315,492		46,751,603	
Ⅱ経常費用					
1　事業費					事業運営に関する費用
1）人件費					豊田市環境学習施設eco-T：11名、環境学習WEB・エコポイントナビ：1名（兼務）、リユース工房：1名など
・給与手当	21,853,953		19,958,529		賞与含む
・法定福利費・通勤費	2,813,739		3,177,433		
・アルバイト給与	699,000	25,366,692	846,900	23,982,862	講座アルバイト費用、学習コーディネーター費用、環境学習Web取材など
2）その他経費					事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収益額によって按分して計上
・通信費	381,305		301,993		
・水道光熱費	156,271		174,114		
・旅費交通費	6,385,591		6,235,530		インタープリター交通費など
・広告宣伝費	1,314,625		1,803,903		イベントチラシ、eco-T通信など
・接待交際費	66,758		0		研修お礼など
・会議費	344,411		151,895		
・事務用品・消耗品費	1,351,960		887,566		
・講座・イベント等材料費	450,829		276,124		
・新聞図書・展示用品費	655,221		420,200		新聞・雑誌購読料、参考図書など
・印刷経費	255,960		0		環境学習お助け本印刷
・リース料	1,781,012		1,024,709		業務車両リース、借上げバス、備品リースなど
・修繕費	259,892		271,590		備品修繕など
・地代家賃	1,887,638		1,869,210		
・保険料	125,537		109,885		ボランティア保険、行事保険
・租税公課	2,220,388		1,220,953		消費税など
・諸会費	65,142		61,318		
・福利厚生費	432,616		299,820		
・報酬	878,798		285,000		講師謝金など
・支払手数料	1,889,813		990,532		委託料・報酬、ごみ処理手数料、振込手数料など
・外注加工費	3,476,952		867,498		環境学習Webサイト更新、エコポイントナビ制作、環境学習お助け本作成など
・材料仕入高	0		520,373		
・雑費	3,000	24,383,719	3,000	17,775,213	
2　管理費					運営、広報、経理、労務等に関する費用
1）人件費					人件費分は従事割合により按分
・給与手当	2,269,020		2,397,975		賞与含む
・法定福利費・通勤費	838,258	3,107,278	780,018	3,177,993	
2）その他経費					事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収益額によって按分して計上
・通信費	3,301		2,507		
・水道光熱費	2,058		1,936		
・旅費交通費	2,616		1,836		
・広告宣伝費	421		581		環境カレンダーなど
・接待交際費	38,556		11,675		お祝いのお花など
・会議費	987		287		
・事務用品・消耗品費	5,022		1,962		事務用品、消耗品など
・新聞図書費	1,819		1,015		
・修繕費	390		344		
・地代家賃	24,862		20,790		事務所家賃
・保険料	303		155		
・租税公課	28,962		13,347		消費税など
・諸会費	858		682		中部リサイクル運動市民の会、自治会費
・福利厚生費	1,991		569		健康診断など
・報酬	4,002		0		
・支払手数料	7,015		2,671		振込手数料など
・支払利息	5,217		4,058		
・雑損失	133,000	261,380	0	64,415	
3　法人税、住民税および事業税	85,000	85,000	525,980	525,980	
経常費用合計		53,204,069		45,526,463	
Ⅲ正味財産増減の部					
当期正味財産増減額		111,423		1,225,140	
前期繰越正味財産額		9,178,821		7,953,681	
次期繰越正味財産額		9,290,244		9,178,821	

●経常費用の部門別内訳

（単位：円）

科目	環境学習事業	環境学習等への支援・連携事業	情報受発信事業	環境学習施設等の管理運営事業	その他の事業	管理部門	合計
1　事業費							
1）人件費							
・給与手当	0	944,000	850,000	20,059,953	0	0	21,853,953
・法定福利費・通勤費	0	42,469	120,330	2,650,940	0	0	2,813,739
・アルバイト給与	0	33,000	378,000	288,000	0	0	699,000
人件費計	0	1,019,469	1,348,330	22,998,893	0	0	25,366,692
2）その他経費							
・通信費	0	9,403	18,706	353,196	0	0	381,305
・水道光熱費	0	5,383	11,558	139,330	0	0	156,271
・旅費交通費	6,800	40,702	144,470	6,193,619	0	0	6,385,591
・広告宣伝費	0	1,101	2,365	1,311,159	0	0	1,314,625
・接待交際費	0	0	0	66,758	0	0	66,758
・会議費	0	14,749	7,938	321,724	0	0	344,411
・事務用品・消耗品費	7,181	27,540	29,882	1,287,357	0	0	1,351,960
・講座・イベント等材料費	0	142,979	0	250,650	57,200	0	450,829
・新聞図書・展示用品費	0	4,758	10,215	640,248	0	0	655,221
・印刷経費	0	255,960	0	0	0	0	255,960
・リース料	0	0	0	1,781,012	0	0	1,781,012
・修繕費	0	1,021	2,192	256,679	0	0	259,892
・地代家賃	0	65,025	139,613	1,683,000	0	0	1,887,638
・保険料	0	792	1,699	123,046	0	0	125,537
・租税公課	0	75,751	163,441	1,981,196	0	0	2,220,388
・諸会費	0	2,244	4,818	58,080	0	0	65,142
・福利厚生費	0	5,209	14,828	412,579	0	0	432,616
・報酬	15,000	100,465	22,469	740,864	0	0	878,798
・支払手数料	22,560	56,526	42,310	1,768,417	0	0	1,889,813
・外注加工費	0	1,892,160	1,584,792	0	0	0	3,476,952
・雑費	0	0	0	3,000	0	0	3,000
その他経費計	51,541	2,701,768	2,201,296	19,371,914	57,200	0	24,383,719
2　管理費							
1）人件費							
・給与手当	0	0	0	0	0	2,269,020	2,269,020
・法定福利費・通勤費	0	0	0	0	0	838,258	838,258
人件費計	0	0	0	0	0	3,107,278	3,107,278
2）その他経費							
・その他経費	0	0	0	0	0	261,380	261,380
その他経費計	0	0	0	0	0	261,380	261,380
3　法人税、住民税および事業税							
・法人税等	0	0	0	0	0	85,000	85,000
合計	51,541	3,721,237	3,549,626	42,370,807	57,200	3,453,658	53,204,069

２．貸借対照表（二期比較）

「特定非営利活動に係る事業会計」貸借対照表（二期比較）（案）

2015年5月31日現在

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト

（単位：円）

科目・摘要	2014年度		2013年度		備考（2014年度）
Ⅰ　資産の部					
１　流動資産					
現金	93,303		357,327		
普通預金	22,459,240		17,200,195		三菱東京UFJ銀行、豊田信用金庫、ゆうちょ銀行
売掛金	423,000		153,000		
前払費用	162,000		157,500		事務所家賃
立替金	0		142,959		
流動資産合計		23,137,543		18,010,981	
２　固定資産	0		0		
固定資産合計		0		0	
３　投資等					
保証金	450,000		450,000		事務所保証金
出資金	10,000		10,000		豊田信用金庫
投資等合計		460,000		460,000	
資産合計		23,597,543		18,470,981	
Ⅱ　負債の部					
１　流動負債					
買掛金	1,225,412		546,507		HP更新費用、チラシ作成費用、備品リースなど
未払金	2,701,944		2,530,230		5月分給与、社会保険、ボランティア交通費など
前受金	8,506,000		4,398,000		豊田市環境学習施設eco-T
預り金	638,363		664,043		社会保険、源泉所得税、住民税など
未払い法人税等	121,680		525,980		
未払い消費税	1,113,900		627,400		
流動負債合計		14,307,299		9,292,160	
２　固定負債	0		0		
固定負債合計		0		0	
負債合計		14,307,299		9,292,160	
Ⅲ　正味財産の部					
前期繰越正味財産		9,178,821		7,953,681	
当期正味財産増加額		111,423		1,225,140	
正味財産合計		9,290,244		9,178,821	
負債および正味財産合計		23,597,543		18,470,981	

３．財産目録（二期比較）

「特定非営利活動に係る事業会計」財産目録（二期比較）（案）

2015年5月31日現在

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト

（単位：円）

科目・摘要	2014年度		2013年度	
Ⅰ　資産の部				
１　流動資産				
現金預金				
現金　　現金手許有高	93,303		357,327	
普通預金　三菱東京UFJ銀行　豊田南支店	820,794		1,569,451	
普通預金　豊田信用金庫　本店営業部	21,476,006		15,561,144	
普通預金　豊田信用金庫　トヨタ町支店	38,040		0	
普通預金　ゆうちょ銀行	124,400		69,600	
売掛金				
事業収益	423,000		153,000	
前払費用	162,000		157,500	
立替金	0		142,959	
流動資産合計		23,137,543		18,010,981
２　固定資産	0		0	
固定資産合計		0		0
３　投資等				
保証金	450,000		450,000	
出資金	10,000		10,000	
投資等合計		460,000		460,000
資産合計		23,597,543		18,470,981
Ⅱ　負債の部				
１　流動負債				
買掛金				
事業費（広告宣伝費・リース料・事務用品費など）	1,225,412		546,507	
未払金				
給与手当	1,575,732		1,403,636	
法定福利費・通勤費	540,342		539,964	
事業費（交通費など）	516,000		520,000	
管理費（通信費など）	69,870		66,630	
前受金				
事業収益	8,506,000		3,564,000	
受取助成金	0		834,000	
預り金				
社会保険料	473,406		561,687	
源泉所得税	90,957		57,556	
住民税	32,900		44,800	
その他	41,100		0	
未払い法人税等	121,680		525,980	
未払い消費税	1,113,900		627,400	
流動負債合計		14,307,299		9,292,160
２　固定負債	0		0	
固定負債合計		0		0
負債合計		14,307,299		9,292,160
正味財産		9,290,244		9,178,821

※計算書類の注記

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日発表、2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

・消費税等の会計処理 消費税の会計処理は、税込方式によっています。 **・共通経費の按分方法** 事業部門と管理部門に共通する経費は、部門の収入額によって按分し、事業費等の内訳に計上しています。

４．監査報告

2014年6月1日から2015年5月31日までの特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクトの決算書類を監査した結果、処理が適正であることを認めます。

2015年 7 月 12 日

監事 石村正行 印

監事 谷口功 印

第３号議案　　役員選任

今回の総会をもって、全役員の任期が満了します。これに伴い、理事会で検討した結果、2015 年７月～2017 年７月までの理事を以下のように提案しますのでご承認をお願いします。
また、監事の選任をお願いします

理事候補

＜新任＞
守随純子
〔現在活動〕
・NPO 中間支援　活動助っ人座　代表
・ガールスカウト愛知県第６２団リーダー
・一般財団ボーイスカウト愛知県連盟評議員
〔現在職業〕
・ファシリテーター
・豊田市共働のまちづくり刈谷市つなぎの学び舎
・豊田市次世代育成課　豊田市地域保健課
〔職歴〕
・豊田市青少年センター
・名古屋 YMCA 豊田ブランチ
・とよた市民活動センター勤務
・社会部共働推進課　地域支援課
〔役職歴〕
・社団法人ガールスカウト日本連盟理事・副会長
・一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟長
・日本キャンプ協会　理事
・愛知県緑化推進委員会理事
・豊田市市民活動促進委員会委員

種子田實郎
eco-T のインタープリターになって７年目になります。環境保全に関心があり、市民と共に環境改善に向けて学習し考え、その必要性を伝えていきたいと思っています。会社の OB 会の幹事、同窓会支部長、地元区会議員などを務めながら趣味の世界では、混声合唱団の団長をしながら歌っています。また、長野県に休耕田を借り、畑を耕して野菜作りをしています。
eco-T では、エコットクッキングの代表やめぐり座の団員でエコットマンをやり、また P&P で俳句の勉強をしてエコを伝える活動にも精を出しています。

本田昭二
エコットのインタープリターになって６年目になります。市民に環境のことをわかりやすく伝える仕事に生きがいを感じながら、高齢化が進む中での取り組みとして、企業 OB 会副代表世話人として、定年後健康でいきいきと暮らせるために、趣味や体力づくり、コミュニケーションの場づくりを推進。また、派遣会社顧問として、若者が働く意欲が持てるように、ものづくりの魅力や楽しさを経験を基に伝えるとともに、管理監督者の管理能力の向上を進めて、やりがいのある仕事ができる人材育成を進めています。
『育つ、育てる人材育成』で、人を育てる仕組み作りが目標です。

＜留任＞
赤坂洋子、坂本竜児、田上治、横井純夫

監事

石村正行、谷口功

退任理事

岩月桂子
当会の理事を発足当時より務めさせて頂きましたが、私に何ができたかはいささか疑問です。でも、施設ができる前から関わりを持った事もあり、NPO の法人化やネーミングを決めたりした経緯も有って、施設に対する熱い思いは消えていません。
42 万人の豊田市民に市民が運営し、市民が市民にエコライフを伝える施設として誕生した「eco-T」が「質」（運営・内容）「量」（参加・利用）等が好ましい進展をして、今後益々、活動者も来場者も笑顔あふれ、活気に満ちた施設としての発展と飛躍をする事を願っています。

長嶋一枝
eco-T の事業開始時からインタープリター活動の楽しさを知り、運営会議にも参加していたところ、エコ人プロジェクトの理事にと声をかけてもらいました。
平成 20 年 12 月に設立総会以来７年、インタープリター活動に加えて、多くの学びと貴重な経験がありとても感謝しています。
今後のエコ人プロジェクト、ますますのご発展をお祈りしております。

報告事項

1　2015 年度事業計画　（期間　2015 年６月１日から 2016 年５月 31 日まで）

【事業活動】

１．環境学習事業

（１）eco-T での取り組み

- eco-T の通常対応
  来館者がいつ来ても楽しめる工夫を盛り込みます。
  （例　展示の活用、カードゲーム、クラフトなど）

- 施設利用の見直し
  施設利用が好評ですが、予定が詰まりすぎて本来の環境学習を目的にした団体が利用しにくく、また商業の宣伝と思われる活動が登録・利用しています。利用ルールを見直し改善をはかります。

- くらしの環境学習推進校【要検討】
  学習コーディネーターも出前授業を担うインタープリターも不足しがちです。また、とよた環境学習お助け本が完成し、今後ますます出前授業の要望が増えてくると思われます。
  活動を担う人材の育成（人数・質の向上）をはかるとともに、今後のあり方を検討します。

- 低学年から高学年まで連続した環境学習への取り組み【充実】
  小学４年生の公共施設見学を中心に環境学習を実施してきました。また、単発の低学年、高学年の出前授業も実施しています。
  今までの蓄積を活かし、低学年向け、高学年向けの連続した環境学習のモデル作りを行います。

（２）eco-T 以外での取り組み

- 環境学習の機会提供
  hibico の記者育成講座や取材者のできることを講座にするなど、環境分野を楽しく学ぶ機会を提供します。また、継続して実施している豊田市環境基本計画の進捗を学ぶ勉強会を開催します。

- ESD に関する取り組み
  ①ESD コーディネーター研修（豊田市共働事業提案制度市民提案型事業にエントリー）
  持続可能でよりよい地域づくりを担う「ESD コーディネーター育成講座」を平成 27 年度に開催できるよう豊田市に働きかけを行います。
  ②その他、様々な事業に ESD を意識して取り組みます。

２．環境学習等への支援、連携事業

- とよたの環境学習お助け本の活用
  2015 年 3 月に完成し、全校に配布しました。今後は、学校で使ってもらえるような働きかけを行います。

● 環境学習や環境まちづくりイベントへの支援・出展
交流館や企業、自治区、市民団体など各種団体からの要請に応じて、環境学習や環境まちづくりを目的としたイベントの支援を行います。要請に応じた実施ですので、目標値は定めませんが、本来業務に支障がない範囲で引き受けていきます。

● とよた環境学習・環境活動支援拠点（シェアオフィス）の運営
エコライフとよたを目的にする個人・団体に向けて事務所スペースの利用者を募集します。

３．環境配慮型商品等の普及促進事業

● 緑のカーテン普及事業
eco-T 入口の緑のトンネルならびに３階調理室窓の緑のカーテンの設置、管理をします。また、有志により育成したゴーヤなどの苗をエコットフェスタで配布し、緑のカーテンを普及します。

● リユースイベントの地域展開
引き続き「かえっこバザール」の地域展開を行います。
また、エコットフェスタで回収・提供した子ども服、陶磁器（食器）、本のリユースの仕組み化を検討し、資源が循環する社会づくりを試みます。

● 地産地消（食）の推進
地産地消（食）の推進や障がい者の就労支援を目的に、エコットフェスタなど、イベントを開催する際には、豊田市内や矢作川流域の産直品の販売や授産施設の商品を販売する機会を作ります。
自分達が暮らす地域を自分達が（買い）支えることの大切さを PR します。エコットフェスタ 2014 では 15 店に協力をいただきました。2015 年も同様に行っていきます。

４．調査研究、政策提言事業

● 新環境基本計画（平成 30 年策定予定）に向けた取り組み【継続】
市民参加型で策定した他自治体の事例に学び、今後の展開を検討します。

● 「雑紙分別大作戦」～雑紙は資源！共働で燃やすごみの減量を推進しよう！～（共働事業提案制度）
制度にエントリーしました。平成 28 年に実施できるように、市に働きかけをしていきます。
①わが家のごみステーション調査
各家庭がごみをどのようにストックしているかを調査します。調査方法は、ネットやチラシでの公募や協力家庭を訪問して調査する方法を考えます。調査と合わせてごみ減量アイデアやライフスタイル変換の課題など意見を集めます。
②ごみ減量シンポジウムの開催
家事や片づけで有名な方の講演会と豊田市のごみ減量のＰＲ。
③とよたごみ減量リーフレット作成
わが家のごみステーション調査結果やシンポジウムの内容をもとに、豊田市民が気軽に取り組めるごみ減量方法を伝えるチラシを作成し配布します。

● 各種委員会やネットワークへの参加
環境活動の促進や環境まちづくりの推進に向けて様々な活動に参加します。

５．情報受発信事業

● とよたのエコなくらし「hibico」
豊田市の業務として運営を行ってきたものを引き継ぎ、更新を行っていきます。当面は、月１～２回の更新を行いつつ、さらに豊田市民の親しんでもらえるようなオフ会を開催します。運営資金の調達方法が重要な課題です。
また、公共コミュニケーション学会環境・リスクコミュニケーション部会の一事例に採用してもらえましたので、様々な人の力を借りながら充実させていきます。

● 情報発信の充実
・当会リーフレットの作成

６．環境学習施設等の管理運営事業

● eco-T での環境学習・運営業務
10 年目、10 周年に向けて、記念行事の計画や展示や運営の改善を行います。

● リユース工房受付業務
来館者、落札者に満足してもらえるような案内をするとともに、出張リユース工房や eco-T のイベント出展などと連携して、リユース工房の認知度を高めます。

７．その他、法人の目的を達成するために必要な事業

● その他要請に応じて、環境啓発グッズの製作・販売を行います。
例）缶バッジやマイ箸づくりなど

● 稲武商工会の依頼で「稲武地区内経済状況の調査分析」を行いました（年度またぎ事業）。

【法人運営】

１．会員

種別	2014 年度末	目標	増減
正会員	23 人	30 人	＋7人
賛助・学生会員	47 人	70 人	＋20 人
賛助・団体会員	３団体		

２．寄付等

イベントなど、機会あるごとに当会の運営資金獲得や寄付文化の醸成のために、積極的に寄付を募ります。寄付先は、当会のみならず、東日本大震災や地球温暖化防止活動など趣旨に合わせて寄付先を選定します。

３．会議の開催

（1）通常総会

第７回通常総会は、2015 年７月 20 日（月）に、岡田屋（稲武地区）で行いました。総会終了後、稲武のまちを自由見学して親交を深めました。

第８回通常総会は、2016 年７月に開催する予定です。

（2）理事会

月に１回程度開催し、中期ビジョンの策定や新規事業づくり、運営上の課題等についての話し合いを行います。

４．理事・職員研修等

事業の充実を図るため、外部で開催される研修会等にスタッフや理事が積極的に参加できるよう、情報を収集し、参加を促進します。

５．団体ビジョンの見直しや中期計画の策定

2017 年には eco-T 開設 10 周年を迎えます。この節目を共に迎える有志と一緒に見直しを行います。

２．2015 年度収支予算　（期間　2015 年６月１日から 2016 年５月 31 日まで）

2015年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支予算書（案）

2015年6月1日から2016年5月31日まで

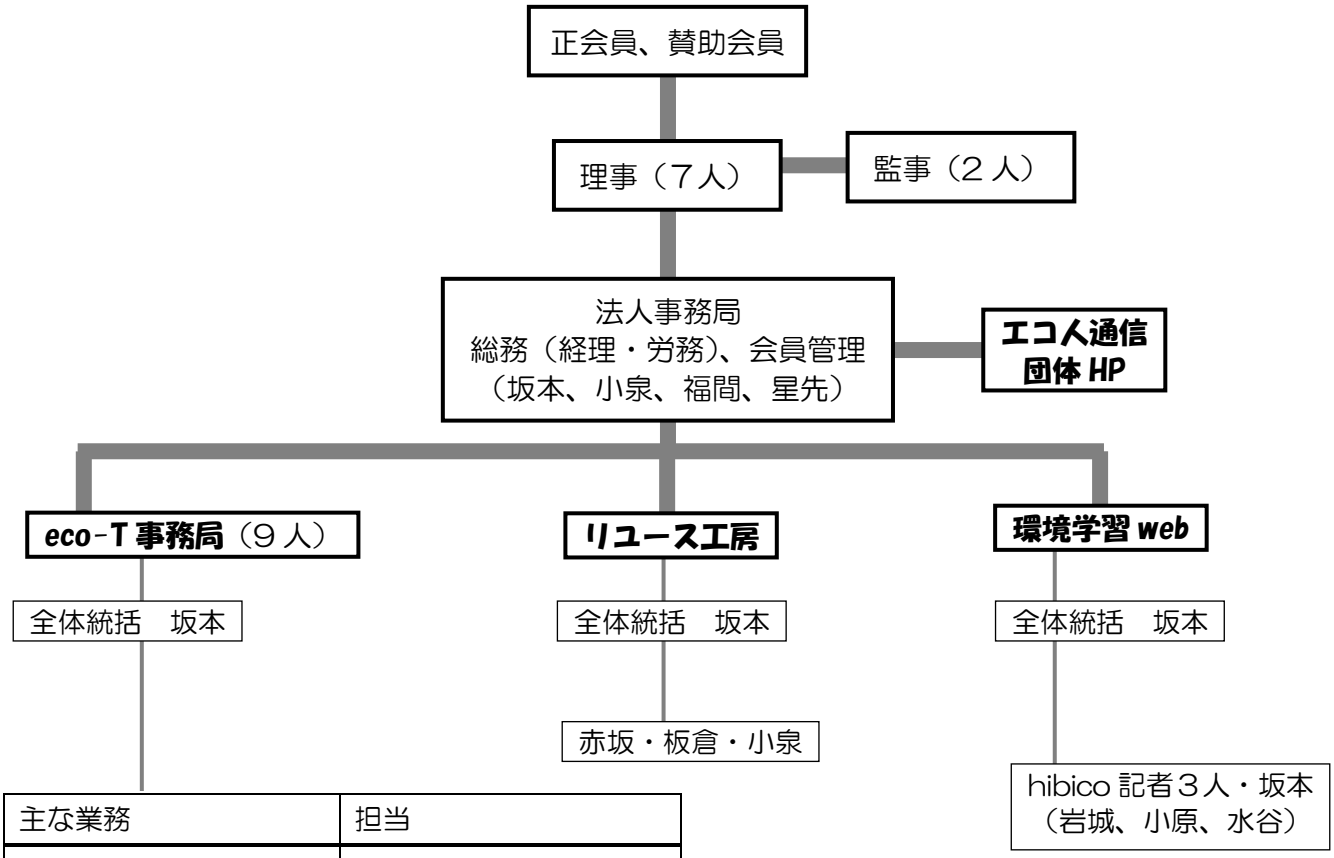
特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト

（単位：円）

科　　目	金　額　（円）			備考
Ⅰ　経常収益				
１　受取会費				
1）正会員受取会費	300,000			正会員30名
2）賛助会員受取会費	86,000	386,000		賛助会員・学生会員70名、団体2
２　事業収益				
1）環境学習事業	0			
2）環境学習等への支援、連携事業	72,000			環境学習・環境活動支援拠点
3）環境配慮型商品等の普及促進事業	0			
4）調査研究、政策提言事業	0			
5）情報受発信事業	0			
6）環境学習施設等の管理運営事業	47,682,000			豊田市環境学習施設eco-T・リユース工房（6～3，4～5月）
7）その他事業	200,000	47,954,000		稲武地区経済特性調査
３　受取寄付金	5,000	5,000		
４　その他収益				
1）受取利息	2,000	2,000		
経常収益合計			48,347,000	
Ⅱ　経常費用				
１　事業費				
1）環境学習事業	0			
2）環境学習等への支援、連携事業	64,800			環境学習・環境活動支援拠点人件費
3）環境配慮型商品等の普及促進事業	0			
4）調査研究、政策提言事業	50,000			
5）情報受発信事業	500,000			とよたのエコなくらし
6）環境学習施設等の管理運営事業	38,400,000			豊田市環境学習施設eco-T・リユース工房費用
7）その他事業	180,000	39,194,800		稲武地区経済特性調査人件費
２　管理費				事業部門と管理部門に共通する経費の按分はせずに試算
1）役員報酬	0			
2）給料手当	2,550,000			法人運営
3）福利厚生費	153,000			健康診断　等
4）会議費	75,000			理事会12回、総会1回　等
5）旅費交通費	201,000			打合せ交通費、駐車料金　等
6）通信費	253,000			電話・FAX料、事務所インターネット、サーバードメイン、郵送料　等
7）事務用品・消耗品費	230,000			事務所消耗品費　等
8）新聞図書費	139,000			参考図書　等
9）水道光熱費	158,000			事務所水道光熱費
10）地代家賃	1,944,000			事務所費
11）保険料	23,000			役員傷害保険（代表理事）、火災保険
12）諸会費	66,000			自治区・商店街費、その他会費
13）支払い手数料	236,000			IT、総務関係のサポート、振込手数料
14）租税公課	1,850,000			収入印紙、消費税(簡易課税)
15）雑費	0	7,878,000		
３　法人税、住民税および事業税	401,820	401,820		
４　予備費	0	0		
経常費用合計			47,474,620	
当期収支差額			872,380	
前期繰越収支差額			9,290,244	
次期繰越収支差額			10,162,624	

参考

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト組織図



主な業務	担当
見学受付	坂口・浦松・田原・堀・堀田
シフト調整	坂口・浦松・田原・堀・堀田
くらしの環境学習推進事業	小泉・坂本・堀田
世話人会	小泉・堀田
エコライフ講座	福間・坂本・堀田
期間展示、展示製作	小泉・福間・堀・坂本
イベント出展	福間・坂本
ワーキング活動	福間・堀田・坂本
情報発信	小泉・堀田・田原

有給職員数

・専従スタッフ　４人
・パート・アルバイト　７人
・記者３人
　合計　14 人

〔理事の役割〕

- 理事会は、事業が団体のミッションに沿っているかを確認する
- 理事は、組織としての意見を持つ
- 理事は、理事会に参加して適切な意見を言う
- 理事は、事業に適宜アドバイスを行う
- 理事は、かかわれる範囲で役割を担い現場の状況を知り、理事会で報告する

〔スタッフとしての期待〕

- NPO のミッションを理解し実践する
- 一所懸命かつ臨機応変に活動する
- 自ら考えインタープリターや地域の力を引き出すように行動する
- 常に学ぶ姿勢を持つ
- 笑顔を忘れない

＊理事会、スタッフ会議で策定

2015/7/4　　事務局まとめ

■公共施設見学案内の工夫

①見学の段取り

・事前に計画書で見学の時間などを確認し、パッカー車が来ない場合の説明を事前に用意したりするなど、学校・時間に応じた準備をする。

②多目的室レクチャー

・レクチャーのごみの中身の割合を説明するときに小学校４年生は％（パーセント）を習っていないため、身近なものに例えて話す。
・温暖化の写真スライドでは、写真の状況を先に説明するのではなく、「この写真はどういう様子かな？」など子どもたちに考えさせたうえで、状況を説明する。
・パワポのスライド使用時、竜巻の写真の説明で、「みんなの学校の校庭でも小さな竜巻が発生するのを見たことあるよ。」など、身近な事例を出して、より身近に感じてもらう働きかけをする。
・子どもたちに質問をしたとき、同じ子どもばかりに答えさせないように、少し考える時間を与える。

③紙しばい

・紙しばいが始まる前によしくんのぼうしをかぶってもらう子「よしくん」を探す。「よしくん」がいない時はかぶりたい子を指名していた。場が盛り上がり、児童とインプリの距離が縮まる。
・紙しばいの「おかえり」最後のシーンで台本では「今日は小学生のみんなが・・・」のセリフを当日の小学校名に変えてアレンジして話す。

④見学ルート

1）出発

・見学に出発する際に“３つの特長”や特に感じてほしいことを先に伝え、見学中意識して考えさせ、シャッター前に返ってきた時に質問して復習する。
・工場見学時、列から離れてしまう児童に対し、叱るのではなく、「最初にした３つの約束覚えてるかな～」と対応する。
・大規模校で見学時に前を行くグループに追いついてしまった場合、中央制御室手前では屋上緑化があるため、その説明をして時間調整をする。

2）中央制御室

・中央制御室で炉のモニターを説明するときは、溶けだしたスラグは説明せずに「あの白いものは何かな？」と子どもたちに考えさせたうえで、その後、実際のスラグを触る体験へ移動すると実感がわく。
・中央制御室向かいの不適物展示では、子どもたちに実際中身を見てもらい何があったか発表してもらうと分別の大切さがより伝わる。

3）プラットホーム

・朝、昼一番はパッカー車が来ない場合が多い。来ない場合の説明を事前に用意したり、プラットホーム横のパーテーションのポスターを使って説明するなどで対応する。
・パッカー車がいる場合、プラットホームから出る際に手を振ると手を振りかえしてくれる。見学の趣旨とは少しずれるが、ごみ収集を身近に感じ、収集する人への協力の気持ちがうまれるかも。

4）ごみ重さ体験

・重さ（801g）の体験を実施しながら、自分の家のごみの取集日は知ってる？など質問を交えて、身近な自宅などでのごみへの関心を引き出した。

・重さ（801ｇ）の体験では家族の人数分の重さを持ってみるなど体で体験させる。

・「ごみ出しの手伝いはしている？」などの質問から自宅でのごみへの取り組みについて考えてもらう。

5）ごみクレーンバケット

・ごみピットでは、事前に見たクレーンバケットの実物大と比べてどのようにクレーンが見えるのかを問いかけ、ごみピットの大きさやごみの多さを感じてもらう。

6）ごみピット

・ごみピットの深さなど、まずは子どもたちに「どれくらい深いと思う？」など想像させて、大きさを感じてもらうことで、ごみを大量に処理している現状を理解してもらう。

7）炉

・炉の見学の窓を触って暖かさを確認することで、高温で処理されていることを実感してもらう。

⑤ふりかえり

・本来、インプリが直接説明することを主としているが、炉や発電機は地味で動きも少ないため、子どもたちが落ち着かないなどの場合は案内ボタンを使用することで、子どもたちが話を集中して聞くことが出来た。

・なかなか落ち着かないグループを担当した場合、工場見学では、可能な場所では座らせて説明すると、子どもたちが落ちついて話を聞くことができた

・子どもから意見を聞き出した際に「正解」「違う」などの答えは言わず、子どもがどう思ったか、どう感じたかを考えさせて答えてもらった。

⑥出前授業

・“いただきます”の意味を伝えながら、食事の食べ残し、生ごみについての話をすると子どもたちに食事の大切さ、食べ残しはごみになるんだということが伝わる。

・「お弁当残さず食べている？」と身近な話題からごみ減量のはなしをするとわかりやすい。

以上

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクト
（2015 年 7 月）

●事務所
〒471-0025　豊田市西町１丁目 88 番地
カニックビル５階
TEL　0565-50-5684　FAX　0565-50-5568